



新型コロナウイルス感染症の地域の感染状況把握に資するよう、「学校等欠席者・感染症情報システム」（日本学校保健会）への加入・活用を依頼するものです。（新規）

事 務 連 絡
令和 2 年 6 月 8 日

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課 御中

文部科学省初等中等教育局
健 康 教 育 ・ 食 育 課

学校等欠席者・感染症情報システムの加入について（依頼）

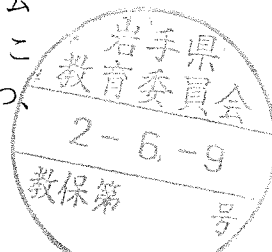
各自治体におかれては、地域における一斉の臨時休業期間を終了し、学校における新型コロナウイルス感染症対策について御尽力いただいていることと存じます。

新型コロナウイルス感染症については、いまだ不明な点が多く、有効性が確認された特異的なワクチンは存在しません。このため、どの地域においても、いつ感染者が発生してもおかしくないという前提で、地方自治体内での衛生主管部局との連携や学校医・学校薬剤師等の専門家と連携した学校の保健管理体制を築いておくことが重要です。

公益財団法人日本学校保健会においては、「学校等欠席者・感染症情報システム」を運営しており、このシステムを活用すれば、地域における児童生徒の健康状況を関係機関で同時に把握することが可能です。平成 29 年度には、全国の保育園の約 33%、小学校の約 53%、中学校の約 50%において利用されています。

新型コロナウイルス感染症の陽性患者については、一義的には自治体の衛生主管部局により把握されますが、その前段階の情報として、発熱等の風邪症状がある児童生徒がどの地域に多数発生しているかなどを関係機関が把握することにより、地域の警戒度を高め、学校における感染症対策をより徹底するなどの対応が可能になると考えられます。

本システムは、近日中に新型コロナウイルス感染症対策に対応したシステムとなるよう改修を加えることを予定しており、全国の学校に御協力いただき、このシステムを活用した事例を蓄積することにより、厚生労働省とも連携しつつ、



学校における感染症対策の改善に努めたいと考えています。

つきましては、別添のとおり日本学校保健会から通知されておりますので、本システムをまだ導入していない教育委員会におかれては、本システムに積極的に加入いただき、感染症対策に活用下さるようお願いいたします。なお、本システムの加入は、都道府県及び市区町村教育委員会単位での申し込みとなりますので、私立学校や国立学校など加入施設の範囲については各教育委員会がご判断ください。利用料は無料です。なお、利用可能となるまでに申し込みから1～2か月ほどかかります。

各都道府県教育委員会におかれましては、域内市（区）町村教育委員会に対し周知くださるようお願いいたします。

「学校等欠席者・感染症情報システム」加入の問合せ先

（公財）日本学校保健会 担当者 永井、高橋

https://www.gakkohoken.jp/kesseki_contact/index

参考1：学校等欠席者・感染症情報システムの概要（日本学校保健会ポータルサイト）

https://www.gakkohoken.jp/files/ccenter/new_about_system.pdf

参考2：学校等欠席者・感染症情報システム デモ版のご案内（ログインするとマニュアルがご覧になれます）

https://www.gakkohoken.jp/info_demo

参考3：「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html

（本件担当）

文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課
TEL：03-5253-4111(2070)